

貸本文献のアーカイブズが紙の目録として成就した。

長年、貸本業の傍ら嘗々と文献収集に努めてきた大竹正春、

図書館での豊富な経験をもち、書誌作成の練達人である藤島隆、

この二人の手になる本書は、まさに編纂に人を得たからこそその達成。

\*文庫文献類從 28 \*

共編 大竹正春・藤島隆

# 貸本関係文献書誌

(「貸本関係資料集成—戦後大衆の読書装置」別巻六)

1872 年(明治 5 年)

1872 年(明治 5 年)

- 6月 吉川半七貸観所を設るに付願書之略：「日要新聞」30号〈南傳馬町一丁目書肆吉川半七貸観所を設るに付願書之略。方今日新之時漸々翻訳書出版学者須求之新書牛棟にて且其価も夥しく儘く看披し難く、因て貸観所と称し毎日八字より四字を限り、但一字間半錢宛を申受、仕入置たる翻訳書を観覽に備へ、自然学者之弁利、且商業の一助にも相成べく候間、規則書相添奉願上云々。六月十三日御聞届あり、近日開場あるべき也】【0001】
- 6月 仮名垣魯文述 和漢書類西洋翻訳來読貸観所告条(報告)：「新聞雑誌」49号〈損料ノ史記ヲ師走ノ虫ニ擬タルハ俳諧者流ノ見立景ニシ腹中万巻ノ虫千ハ漢儒先生自ラ強記ニ誇リソ也拙店元來書肆タルヨリ所蔵ノ史籍ヲ貸観シ知識ヲ弘ク開業ノ設ノ席モ板敷造り洋服踏沓其側ニ椅子ニカヘリテ御誦読ノ見料時計一字間僅ニ新銀半錢ト定メニ外ハ余計ヲ受ケヌ且ハ普通ノ貸本屋ト聊カ異ナル規則ヲ健テ戸外ヘセリ貸不仕看官毎日八字ヨリ四字ヲ限リテ文車ノ引キモキラザル御来駕乎主人ニ代リテ希フ 中橋南傳馬町一丁目金養堂吉川氏近江屋半七】【0002】
- 10月 図書販貸の書林(報告)：「新聞雑誌」63号〈文明維新ノ日ニアタリ、進歩ヲ傍観座視スベケンヤ。於是弊店ノ藏書ハ申ニ及バズ、其他遺漏セシ書モ蒐補シテ、看説ト抄録トニ備ヘントス。諸フ看官日々來ツテ、夫レ勉勵センコトヲ。一、毎日第八字ヨリ四字迄ヲ限り候事。一、借覧ニ供フト雖モ、店外ニ出スヲ禁ズ。一、墨付欠損ハ、其大小ニ応ジ償ハンヲ期ス。一、借覧料左ノ出銀コレ祈ル。一字間 半錢 自八字至四字 三錢 書林 神田区和泉橋通松永町 尾張屋米七白】【0003】
- 11月 東京日本橋通ニ書肆大観堂ナルアリ……：「愛知新聞」32号〈東京日本橋通ニ書肆大観堂ナルアリ、亦諸種新聞紙ヲ陳列シ随意ニ観覽スルヲ縦ルス、一字間見料一錢、客至レバ幾字ト書シタル木牌ヲ付ス、客詰テ一字ニ満ツレバ又幾字ノ牌ヲ送ル、簡便ニシテ最モ妙トスペシ】【0004】

1950 年(昭和 25 年) / 1951 年(昭和 26 年)

- 3月 不良化の第一歩 貸本屋に入り浸る子ら 県児童福祉審議会 俗悪本退治に乗出す：「秋田魁新聞」3月 10 日 朝刊 p2 【0451】
- 4月 (社説) 街の貸本屋について：「図書新聞」42号(4月 26 日) p2 【0452】
- 5月 こどもの日特集 日本の場合—街の図書館・貸本屋：「図書新聞」43号(5月 3 日)p4(中学生もマンガ、放任されている読書組織)【0453】
- 8月 藤村作編纂 『日本文学大辞典 第 3 卷 増補改訂』：新潮社 485p 〈p415 実録体小説（三田村）元来、実録体小説は写本で行はれ、主として貸本屋がこれを扱つた〉【0454】
- 11月 小田原市役所・小田原商工会議所共編 『小田原商工名鑑 1950 年版』：小田原 小田原商工会議所 475p [貸本 4 店掲載]【0455】
- 12月 西田幾多郎 『西田幾多郎全集 第 12 卷』：岩波書店 7,474p 〈p221-227 若かりし日の東圃 東圃はその時分よく小説を読んだ。早道町から遠からぬ堅町といふ所に、一軒の貸本屋があつた。それはその頃の金澤には、殆んど唯一つの貸本屋であつたかも知れない。徳川の末頃の馬琴や三馬などのものを主として、明治の始に譯せられたスコットとかリットンとかの小説なども具へてあつた〉【0456】→昭和 15 年 4 月初出

1951 年(昭和 26 年)

- 1月 国鉄の貸本サービス：「全国古書籍商組合連合会機関誌」No.37 p31(“東京駅文庫”“列車文庫”などとこのところ国鉄も頗まけするほど旅客のサービスにつとめている桜会ではまた近く全国の長距離列車に貸本屋を開店する。主要各駅のホームに桜会加盟店の新刊本を並べ、借りたいお方は定価どおりの保証金を納め、降車の際本を返せば貸借を差引いた金額を返しててくれる)【0457】

- 2/3 月 福井市古書業界現況 上中福井県古書組合理事長談：「全国古書籍商組合連合会機関誌」No.38 (2・3月合併号) p21 (市は月三回開

一、「多数の収載点数……当該分野のツールとしては、空前にして絶後な質量。明治期から現在までの単行書、単行書収載の論文・記事、紀要・雑誌収載の論文・記事、新聞記事・新聞広告などを網羅する。

二、「索引」の工夫……タイトル表記中にある人名、機関名、貸本屋名をも索引語として採録、多面的な検索が可能に。

三、「抄録」という行き届いた配慮……タイトルだけでは内容が把握しにくい文献、掲載の媒体が閲覧困難な記事については、その要点を引用することによって文献内容を示唆。

四、視野はこの列島のみに留まらず、英國の貸本関係文献「English Circulating Library - Bibliography」(清水一嘉編) をも付載する。

公共・大学図書館における必備のレファレンスツールであることはもとより、出版史・読書史・図書館史・教育史等の調査研究にも大いに力を發揮する。

収録件数—約4,500件  
採録誌紙—約380件  
人・機関・貸本店名索引  
—約2,400件

書誌・出版史・書物メディア史のシリーズ \*文庫文献類従 28 \*

# 貸本関係文献書誌

(『貸本関係資料集成—戦後大衆の読書装置』別巻六)

共 編—大竹正春・藤島隆  
造 本—A5判・上製函 総550頁  
価 格—25,000円 ISBN978-4907236-10-6  
刊行時期—2013年10月

■収録内容……

「貸本関係文献目録」1872～2010年  
「English Circulating Library -- Bibliography」(清水一嘉編)  
採録誌名一覧／人・機関・貸本店名索引

## 貸本世界を追尋するためのツールの完成

浅岡 邦雄 (中京大学教授)

明治から平成までに公表された貸本関係の文献を網羅的に集成した『貸本関係文献書誌』が完成した。収録するところの文献は約4,500点におよぶ。貸本文献の調査にとって、願ったり叶ったりのツールの登場といってよい。

長年、貸本業の傍ら営々と文献収集に努めてこられた大竹正春氏、図書館での豊富な経験をもち、書誌作成の練達の士である藤島隆氏、この二人の手による本書は、まさに編纂に人を得たからこそその達成といってよい。

本書の特長は多々あるが、その一端を示せば、まず多数の収載点数が挙げられる。当該分野のツールとしては、空前にして、おそらく絶後であろう。また索引には、タイトル表記中にある人名、機関名、貸本屋名をも索引語として採録、多面的な検索を可能としている。さらに、タイトルだけでは内容が把握しにくい文献については、要点を引用することによって文献内容を示唆するなど、行き届いた配慮がなされている。それに加えて、清水一嘉氏編になる英國の貸本関係文献「English Circulating Library -- Bibliography」をも付載する。

この『貸本関係文献書誌』が、公共図書館・大学図書館における必備のレファレンスツールであることはもとより、出版史・読書史・図書館史・教育史等の調査研究において、大いに活用されることを期待したい。

### 採録誌名一覧

採録文献が掲載されている雑誌名（新聞は除く）を示した。

【歩行】	愛知県史研究 愛知県史のしおり 愛知大学文学論叢 アーチ 青山国際政治経済論集 青山法學論集 青柳マネジメントレビュー 秋田経済大学論叢 アフセス（地方小出版流通センター） アサヒグラフ 朝日ジャーナル アニメージュ あみひ（葵文庫） アミューズ イギリスロマン派研究 石川県中央図書館報 泉（有島武郎創人雑誌） 浮城繪 芸亭 銳角 映画とF A N 英語研究 衛生新報 エクスター 江戸文学	女も男も 【歩行】 香川大学教育学部研究報告 学術研究 外国語・外国文学編（早稻田大学教育学部） 学術研究 摘合文化学編（早稲田大学教育学部） 学校 学友会雑誌（文部省図書館講習所学会） 貸本かな川 貸本組合ニュース（佐賀県貸本組合） 貸本文化 貸本マンガ史研究 学校経営 学校図書館 神奈川県立図書館紀要 神奈川文化 金沢学院大学文学部紀要 鍾舎 かまくら春秋 別冊 カリキュラム カレントアウェアネス
------	--	---

影丸 謙也 鶴山 范 鹿児島 達雄 梶井 純 1047, 1051, 1052, 1056, 1063, 1122, 1175, 1181, 1248, 1251, 1262, 1285, 1298, 1758, 1990, 2084, 2141, 2151, 2193, 2208, 2316, 2659, 2663, 2698, 2713, 2737, 2762, 2783, 2786, 2888, 2890, 2905, 2947-1, 2978, 3011, 3076, 3340, 3508, 3575, 3615, 3964, 3998 萩川 伸 1068-1, 1068-2, 1072, 1074, 1077, 1084, 1087, 1088, 1089, 1090, 1104, 1105, 1130, 1158, 1204, 1241, 1277, 3683, 3684, 3685, 3694, 3860 貸本組合運営会 貸本企連 貸本文化研究会 貸本屋天山 貸本屋天井堂 加島 虎吉 鹿島 茂 堺山 季之 柏倉 菊治	968, 2758, 3088, 3789, 4101 1491 1094, 1317, 1632, 2247 831, 833, 838, 858, 871, 883 905, 914, 934, 938, 965, 979, 1007, 1040, 1047, 1051, 1052, 1056, 1063, 1122, 1175, 1181, 1248, 1251, 1262, 1285, 1298, 1758, 1990, 2084, 2141, 2151, 2193, 2208, 2316, 2659, 2663, 2698, 2713, 2737, 2762, 2783, 2786, 2888, 2890, 2905, 2947-1, 2978, 3011, 3076, 3340, 3508, 3575, 3615, 3964, 3998 239, 321-1, 324-1 58 3360, 3379 3445, 3453, 3454, 3472, 3572-1, 3692-1, 3692-3, 3694, 3860 994 1346 1068-1, 1068-2, 1072, 1074, 1077, 1084, 1087, 1088, 1089, 1090, 1104, 1105, 1130, 1158, 1204, 1241, 1277, 3683, 3684, 3685, 3694, 3860 1011, 1349, 1544, 1941 3694-1, 3694-2 2346 2531 796-1 91	片岡 信 聖田 絹司 片山 善博 片山 みづぐ 勝尾 金弥 勝尾 亮志 勝尾 克志 葛飾 北斎 勝水 徳太郎 勝水 徳三郎 勝明 善一 河童書房 勝又 進 桂 重 家庭紹介研究会 加戸 守行 加藤 修 加藤 萬 加藤 三郎 加藤 俊明 加藤 富夫 加藤 法子 加藤 秀俊 加藤 冬子 加藤 光男 加藤 芳三郎 門多 茂男 門田 恵子 香取 良夫 坂名垣 隆文 神奈川県貸本美術館組合 神奈川古書組合会 金沢文庫開 金森 徳次郎	2550 3276-1 3763 833 3793 3889 550 3886 3090 838, 934 1964 1492 3025 2287-1 2507 3374-1 3488 3266 1307, 2048 692 2929 32 351 3165 3782 2, 350, 825 2091 4112, 4130, 4137 552, 644, 677
---	--	--	--

### 編者紹介

#### 大竹 正春 (おおたけ まさはる) 1931-

1931年東京都江東区生、中央大学法学部(夜間部)中退。1953年貸本兼古書店「大竹書房」開業。2009年閉店。『貸本屋は一冊の本をなかにして二度お客様と接する!一街の図書室「大竹文庫」の足跡と貸本文化研究会』(北の文庫の会、2007年)などにその足跡がまとめられている。

#### 藤島 隆 (ふじしま たかし) 1945-

1970年北海学園大学法医学卒業。1970年北海道大学附属図書館、その後各地国立大学図書館に勤務。2006年から2008年まで北海学園大学経済学部講師。著書に『貸本屋独立社とその系譜』(北海道出版企画センター、2010年)、共著に『北のアンティックアリアン: 札幌古書店の足跡』(北の文庫、1988年)などがある。

\*文庫文献類従 28 \*(2012年~)

## 貸本関係資料集成—戦後大衆の読書装置

全二十四巻・別巻六

●編 者—浅岡邦雄・大竹正春・梶井純・藤島隆  
●造 本—A5／B5判・上製函・総約10,000p 拝予価648,000円(配本毎分売可)

敗戦から4半世紀の間、読者に広く書物や雑誌を供給し、読書をめぐるコミュニケーションの場ともなった貸本店。編者・大竹正春が40年以上にわたり収集してきた資料の集大成によって、これまで空白・不明であったその活動と貸本読者の姿が明らかに。貸本店の個々の営業実態は零細的なものでながらも、その社会的意味はそこにとどまることなく、1950～80年代の思想・文化史を考える上で多くの手がかりを与えてくれる貴重な資料である。

□書店様へ…ありがとうございます。直接小窓までお申し込みください

価格は税別 044/10/4000

表紙写真は『写真サロン』4月号(玄光社、1957年)、他図版はすべて本書より